

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成20年7月3日(2008.7.3)

【公表番号】特表2008-503002(P2008-503002A)

【公表日】平成20年1月31日(2008.1.31)

【年通号数】公開・登録公報2008-004

【出願番号】特願2007-516665(P2007-516665)

【国際特許分類】

**G 06 F 11/18 (2006.01)**

【F I】

G 06 F 11/18 3 1 0 E

【手続補正書】

【提出日】平成20年5月15日(2008.5.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも2つのプロセッサおよび第1の比較器を有する第1の論理装置と、  
少なくとも1つのプロセッサおよび第2の比較器を有する第2の論理装置と、  
を含み、前記少なくとも2つのプロセッサのそれぞれが前記第1および第2の比較器の  
それぞれに結合され、

前記第1および第2の比較器が分散型比較器システムとして動作し、  
各比較器が前記プロセッサにおける故障を独立に識別する、  
電子モジュール。

【請求項2】

前記第1および第2の比較器のそれぞれがソフトウェアで比較機能を実行する、  
請求項1に記載の電子モジュール。

【請求項3】

前記第1および第2の比較器のそれぞれがハードウェア装置である、  
請求項1に記載の電子モジュール。